

オカムラは、グリーンガード認証から、 インドアアドバンテージ認証に切り替えました

対象製品は、『オフィス総合カタログ2021』（2020年12月発行）掲載分より、下記の通りマークを変更しています。



インドアアドバンテージ認証とは

米国オフィス家具業界団体BIFMAが設けたオフィス家具による室内空気環境への影響を評価する基準BIFMA e3の、製品から空気中に放出される揮発性有機化合物（VOC）に対するの厳しい基準をクリアした家具や室内建材に与えられる環境認証です。 **認証製品は健全な室内環境の実現をサポートします。**インドアアドバンテージ認証は米国環境保護庁（EPA）や連邦調達庁（GSA）に認定された国際的な製品認証です。

また、オフィス環境を評価する国際的な認証システムとしてLEED認証*1やWELL認証*2などがありますが、それぞれの認証を取得する上でオフィスで使用される家具にはインドアアドバンテージ認証を取得していることが求められます。

*1…最高クラスのビルト・エンパイロメントを作るための戦略やそれらをどう実現させるかを評価するグリーンビルディングの認証プログラム

*2…人の健康とウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に良好であること）に影響を与える様々な機能をパフォーマンスベースで測定・評価・認証する評価システム

なぜ室内空気環境が重要？

ヒトは90%の時間を室内で過ごすと言われています。その室内空気環境には人体に害を及ぼす可能性のある揮発性有機化合物（VOC）と言われる汚染物質が存在していることがあります。VOCは日常的に皆さんが使用している建具やフローリング、家具、クリーナーといった製品から空気中に放出され、そのVOCを吸い込むことは健康に悪影響を与える可能性があると考えられています。そこで、BIFMA e3は健全なオフィス環境を実現するために、具体的な化学物質の指定と閾値を設定しています。

インドアアドバンテージ認証とグリーンガード認証

インドアアドバンテージ認証とこれまでのグリーンガード認証は、どちらもBIFMA e3に基づいた認証プログラムなので、基準は変わりません。LEED認証やWELL認証などの建築評価システムへの効力も同等です。日本でLEED認証やWELL認証の普及推進団体であるグリーンビルディングジャパンは、製品環境認証としてインドアアドバンテージ認証とグリーンガード認証を同様に推奨しています。

規格	BIFMAe3 - 7.6.1 / 7.6.2 / 7.6.3*3	
認証プログラム	<p>インドアアドバンテージ認証</p> 	<p>グリーンガード認証</p> 
認証機関	<p>SCS社 (本社：米国カリフォルニア州) 環境認証に強みを持つ認証機関</p>	<p>UL社 (本社：米国イリノイ州) 電気製品安全性認証から家具強度試験、難燃試験、環境認証などを総合的に行う試験・認証機関</p>

*3…オフィス家具の持続可能性を総合評価する規格BIFMA e3の中で製品から放出されるVOC閾値を規定している項目

オカムラは、国内家具メーカーで初めてインドアアドバンテージ認証を取得

日本市場ではグリーンガード認証の知名度が高いものの、海外市場においてはインドアアドバンテージ認証の方が知名度が高いのが実状です。オカムラは海外市場での更なる成長を目指し、より効果の期待できるインドアアドバンテージ認証に切替えを実施しました。

オカムラのインドアアドバンテージ認証取得製品は、オフィスシーティング『Contessa II（コンテッサセコンダ）』やミーティングテーブル「traverse（トラヴァース）」を初め、全部で**106件**あります。（2021年2月18日現在）

オカムラの最新のインドアアドバンテージ認証取得製品は、こちらからご確認ください。

□ Certified Green Products Guide | SCS Global Services（オカムラ製品）

<https://www.scsglobalservices.com/certified-green-products-guide?q=okamura>